



6

2022 June
No.304



自己改革について

第25回通常総代会

座談会・総代会質問Q&A

頑張る人には福が来る
がむばり屋
NO.51
茶生産者 石山吉郎さん

6月19日は『父の日』



デザイン・製作 ● 吉野花壇 (代表) 吉野恒男

ワンポイントアドバイス

父の日には長持ち・色持ちのする千日紅の花束はいかがですか？

誰でもどんな花でも簡単ミニブーケの作り方！

- ①花の頭を揃えて並べる
- ②重ねて置いていく
- ③そのままぎゅっと掴んで茎を同じ長さにカット
- ④輪ゴムでぐるっと
- ⑤ラッピングペーパーで包んでリボンを結んで完成！



花材 ・ 千日紅



①



②



③④



⑤

花
水無月
み

・目次

- 4 自己改革について
- 6 第25回通常総代会
- 8 座談会&総代会質問Q&A
- 16 ほっとトピックス
- 18 はびすのわ
- 22 頭の体操

頑張る人には福が来る
がらびり屋
NO. 51



石山 吉郎さん

宮崎市清武町に広くきれいな緑色の茶畑が広がるこの地で50年美味しいお茶づくりに励む石山吉郎さん(70)。JA宮崎中央茶部会の会長を務めて6年を迎えます。4月12日から摘採が始まり、5月上旬までの1番茶の収穫が続きます。今年は昨年より少し遅れも出ましたが、色、香りともに良いものが出てきたそうです。

この日収穫していたのは『さえみどり』という品種。渋みが少なく甘味が強く近年人気の茶であり、若い方にも飲んでいただきやすい品種だそうです。摘採の7〜10日前には布を被せ、日光を遮断します。それにより葉は濃い色となり、仕上がりのお茶の色も濃い綺麗な緑となるそうです。収穫した茶葉は一度蒸して乾燥を行います。その蒸しの工程が非常に重要であり、毎年工場での確認に余念がありません。「お茶はカテキンを含み、身体にも良いですのでぜひ毎日でも飲んでほしい。小学校へお茶を贈るなどの活動を行って



いるので、子どもたちにも家で飲む習慣が根付いてくれたら嬉しいです。」と話されました。



吉郎さんは就農したときにあった父親の小さな茶畑を少しずつ苗を植え、畑を広げてきたそうです。「正直、50年経った今もこれだ!というお茶が出来上がったことはありません。」と話され、大好きな茶の生産は毎年が勉強と思っ頑張りたいと意気込みます。しかし一方では「良い木を育てるには肥料を与えることが大切で資材の高騰は厳しい状況であります。販売店が望む美味しいお茶作りにはやはり欠かせないものです。」と近年の茶栽培の厳しさもあるようです。

茶畑で大きな茶摘採機を見事に操縦する妻・天子(あつこ)さん。吉郎さんは良い妻を持ったと照れながら笑顔で話されます。茶生産も厳しい中ではありますがこれからも夫婦、息子の祐介さんとともに美味しいお茶づくりを追求し続けていきます。

自己改革について

1. 「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」への挑戦

1 契約的取引の拡大と有利販売対策

販売

- ファン拡大事業による管内農産物のPR活動強化
 - 消費地量販店での宣伝販売回数
年間: 93回 (関東77回・中京5回・九州11回) ※デジタルサインによる推奨販売
- 直売所の販売強化とイベント実施による集客力向上
 - 式部の里 販売高 (R3年2月~R4年1月) 年間: 3億596万円
 - 直売所イベント実施回数 年間: 26回
- 営業販売専門部署による販売強化
 - 市場・販売先との年間販売戦略的商談回数 年間: 129回 (内Web開催106回)
 - 営業販売担当による部会会合への参加 (情勢報告及び部会要望の聞き取り) 年間: 276回 (野菜168回、果樹69回、花卉39回)
- 品目の提案取組み
 - 市場・消費者ニーズの品目取組み (馬鈴薯、にんにく、甘藷紅はるか、高粱)
- 経費抑制及び効率的輸送の取組み
 - 海上コンテナ・JRコンテナの利用拡大 (青果物県内JAグループ コンテナ利用シェア74%)



2 農畜産物ブランド強化対策

営農 畜産

- 宮崎県版GAPの拡大
 - 部会、品目の拡大
部会: 10部会 (GGAP ニラ部会、施設野菜6部会、露地野菜3部会)
果樹・茶: 8品目 花卉: 1品目
- JGAPお茶生産者2名取得
- 早期米コシヒカリJA直接販売
R2年産: 964トン
R3年産: 1,152トン前年度比120%
- 産地交付金(水田活用直接支払交付金)を活用した新市場開拓米(輸出用米)の取組み
R2年取組み: 75トン
R3年取組み: 120トン

農産物輸出販売実績 (単位: 千円)



- みやざき中央畜産物のブランド確立
 - コロナ感染対策を講じた新スタイル消費拡大PR ~非接触型ライブル~
①焼肉パック・花・野菜・水産物・マンゴーのセット販売1,236セット
②焼肉セット・ステーキのセット販売500セット
③焼肉パック・高産物のセット販売2,133セット
④焼肉セット・伊勢海老・水産物・煎茶のセット販売903セット
- Aコープとの地産地消活動
R2: 213頭 → R3: 222頭
- 特定疾病(BL)の無い母牛群の構築
- 質・量・うまみを兼ね備えた種雄牛の造成
 - 主な管内生産種雄牛
「富久竜」「第5安栄」「勝光美」「二刀流」「清正秀」「大白清」
- 品評会入賞牛保留対策事業
 - 令和3年度優等賞管内保留頭数 81頭 (保留率90.0%)

市場上場雄牛のBL検査率 (次世代雌牛)



① 事業分量配当

- 生産資材: 肥料、飼料、農具の供給額に対し、2~3%の戻し
- 木質ペレットの供給額に対し、5円/kgの戻し
- 高産用軽油の供給額に対し、5円/Lの戻し
- 高産用重油の供給額に対し、(施設野菜) 対象期間: R3年10月1日~R4年1月31日 に対し、5円/Lの戻し (露地野菜) 対象期間: R3年3月1日~R3年10月31日 に対し、10円/Lの戻し
- 高産用灯油の供給額に対し、(干し大根) 対象期間: R3年10月1日~R4年1月31日 に対し、10円/Lの戻し

② 価格高騰対策

- 生産資材: パラ配合飼料の供給額に対し、1,500~5,000円/トンの戻し
- 高産用軽油の供給額に対し、1/2の戻し
- 重油の供給額に対し、1円/Lの戻し

①..... (税込) 208,842,436円
②..... (税込) 31,896,308円
総額(税込) 238,738,744円

組合員との徹底した話し合い

地区別JA座談会や支店代表者会及び組合員組織会合等における組合員とJA役職員の徹底した話し合いの場の創出

令和3年度常勤役員出席回数 延べ350回

3 産地基盤の維持強化の取組み

営農 畜産

- 国庫補助事業(産地パワーアップ事業他)
 - H28~R3 事業総額 227件 60億2,083万円
- 国庫補助事業(新型コロナウイルス関連事業)
 - 経営継続補助金(R3)
事業総額 311件 2億4,050万円(概算)
 - 高収益次期作支援交付金(R3)
事業総額 47件 2,950万円(概算)
 - 施設園芸セーフティネット構築事業(施設、灯油の補てん事業)
申請者数: 1,722名JAによる掛金立替: 6億6,864万円

<セーフティネット事業支払い単価予測値>

▼施設特別措置策奨励で購入実績100%が補填対象となった場合の生産者振込単価

発動月	重油	灯油	コース
10月	8.8 円/L当	9.35 円/L当	130%
11月	11.2 円/L当	11.9 円/L当	130%
12月	10.2 円/L当	10.8 円/L当	150%
1月	11.1 円/L当	11.75 円/L当	150%

- 新規就農者利子補給実績 (H28~R3年)
 - 青年等就農資金保証料補てん事業 80件 10,675千円
 - 新規就農者定着支援リース事業 76件 35,055千円
 - 農地利用促進事業 169件 22,037千円
- 計 67,767千円

- 水田維持に向けたプロジェクト
 - 関係機関と連携し、農地流動化対策及び耕作放棄地解消に向けた「宮崎中央水田営農研究会」の活動
- 安全・安心土壌分析による適正使用のための取組み
土壌分析 4,011点 残留農薬分析 524点
- 労働力確保支援の一環として無料職業紹介所を開設し、求人者と求職者のマッチングを実施
マッチング件数: 25件 (無料職業紹介事業5件、有料職業紹介事業14件、職業果野アグリ6件)
- 野菜価格安定事業
JAによる達成金立替: 3億5,496万円 ▶ 生産者振込処理総額: 4億909万円

- 施設ハウスICT(高度環境制御)技術の普及拡大
 - 環境測定装置導入数 H28年度: 63台 R3年度: 201台
 - 炭酸ガス発生装置導入数 H28年度: 184台 R3年度: 595台

胡瓜販売数量の推移(園芸年度)



新規就農者育成支援事業の展開 (単位: 累計新規就農者数)



●施設園芸APハウス整備支援事業
H28～R3 110件 [面積: 1,710.1a
事業総額: 1,206,927千円]

●畜産クラスター事業活用による生産基盤拡充
R3年 機械導入事業: 65件
牛舎建設: 11件
事業費計: 68,809万円

●直営センターの多面的活用
●緊急時預かり(災害・入院・事故) 繁殖牛: 1件 1頭
●妊娠牛の私下事業(管内農家の母牛更新支援) 私下げ頭数: 37頭

●妊娠牛の成牛市場販売 (家畜商組合協力事業) 販売頭数: 9頭

畜産入植団地(第2国富入植 繁殖牛生産性向上への実施 農家への支援活動 団地)の増頭経過(5戸) (単位: 繁殖牛頭数) (分婯間隔の短縮) (単位: 日)

●生産基盤拡大加速化事業の活用
R3年 164件 557頭増頭

●母牛頭数の増加
R2: 11,871頭 → R3: 12,466頭

●生産性向上への取組み
母牛、母豚の更新/分婯間隔の短縮/枝肉重量・肉質の向上/乳量・乳質の向上



4 農業生産資材コスト抑制

経済

●戸別配送の実施
●経済渉外(めぐみ)職員34名を各営農センターに 配置し、戸別配送を行っています。

●使用済農薬及び農薬空容器の回収実施
●R2年6月実施(2年に1度の実施予定)
人数: 343名
回収量: 8,560kg ▶ R4年6月に実施予定

●農業用ドローンを活用した農業支援活動
水稲防除 [散布面積175.3ha(前年対比142%)
労働時間削減効果 約75%]
農業用ハウス汚れ(被膜・藻類等)除去
散布面積1.09ha(前年対比123.7%)

●将来のスマート農業を見据えドローン飛行許可講習会の開催及び受託散布組合(23名)を設立
●令和3年度 講習会8回開催 受講者30名

●年末年始を除く祝祭日の営業等
●各支店、年中無休体制にて営業を行っております。

●オリジナル商品による価格抑制

項目	商品名	従来品との価格抑制
① 肥料	施設、露地、樹木、水稲の元肥等	約3%～約23%
② 配合飼料	中央製粉用	約3%
③ 農業用ビニール	EMETシリーズ	約10%
④ 農業用PO	MIYAZAKI-1 PO	約10%



●令和3年度生産資材価格の引き下げ実績

項目	対象品等	対応期間	条件・内容
肥料(施設・露地・樹木・水稲)の元肥等	施設、露地、樹木、水稲の元肥等	施設、露地、水稲、水稲の元肥等	● 令和3年度は過去最高値を記録した肥料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
配合飼料	中央製粉用	3月、5月、8月	● 令和3年度は過去最高値を記録した配合飼料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約15%、水稲の元肥に約30%の価格抑制を付与。
農業用ビニール	EMETシリーズ	令和3年(3月、4月、...) 全年度	● 令和3年度は過去最高値を記録した農業用ビニールの価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
農業用PO	MIYAZAKI-1 PO	2月～9月	● 令和3年度は過去最高値を記録した農業用POの価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
施設・露地・水稲の元肥	施設、露地、水稲の元肥等	8月	● 令和3年度は過去最高値を記録した肥料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
施設・露地・樹木の元肥	施設、露地、樹木の元肥等	2月～3月、7月～9月	● 令和3年度は過去最高値を記録した肥料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
施設・露地・水稲の元肥	施設、露地、水稲の元肥等	11月～12月	● 令和3年度は過去最高値を記録した肥料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。
施設・露地・樹木の元肥	施設、露地、樹木の元肥等	12月	● 令和3年度は過去最高値を記録した肥料の価格抑制を実施し、令和3年度はコスト削減として、露地の元肥に約10%の価格抑制を付与。

肥料・農薬・飼料につきましては、取扱高又は数量に応じた、ランク別奨励及び店舗自己取り奨励を設定しております。その他品目におきましても価格対策に努め、生産コスト抑制に取り組んでおります。

5 地域の皆さまとともに

総合

2. 「地域の活性化」への取組み

●地元特産でスイーツ作り
●JA宮崎中央直売所の式部の里にて、日章学園高等学校バティシエ科の生徒が地元特産キュウリとトマトを使って制作したスイーツ250個の販売を行いました。

●地域医療にJAが生産物贈呈
●地域貢献活動の一環として、宮崎市・国富町の医療機関211か所に胡蝶蘭210鉢、完熟きんかんたまま1,422kg、煎茶211箱、紅茶440箱を贈りました。

●准組合員向け広報誌(はびすびらす)の作成



●JA宮崎中央SDGs取組宣言

「JA宮崎中央は『食と農を基盤とした地域に根ざした協同組合』として、組合員の皆さまの声に応えながら、本郷の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んでまいりました。今後はさらに、わたしたちの事業や活動が与える多面的な影響にも配慮しながら、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新を促し、社会的役割を誠実に果たします。わたしたちは「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げるSDGsに賛同し、その達成に向けて事業・活動に取り組んでまいります。

●JAによる地域活動記録



●食農教育の取組み

●保育園・小学生を対象に農作業の体験等を通じて「食」と「農」の大切さを伝える活動を行いました。



<小学校田植え体験> <保育園ピーマン収穫体験> <保育園芋植え体験> <保育園への農産物贈呈> <幼稚園へのピーマン贈呈> <保育園芋ほり体験>

第25回 通常総代会

4月28日、第25回通常総代会をJA・AZMホールで開催しました。今年度も新型コロナウイルス拡大防止のため、書面議決による開催となりました。開会にあたり、栗原俊朗組合長が次の通り挨拶を申し上げました。

「本年度の総代会につきましても、昨年同様に残念ながら書面議決による開催となりましたことをご理解いただきたいと思います。

JA宮崎中央の経営改革により昨年3月に店舗再編を実施し、ご利用されている組合員の皆様には大変、ご不便をお掛けしました。しかし、これはJA宮崎中央が将来にわたって総合農協として継続していくことを目指しているためであります。今後も組合員や地域の皆様から頼られる農協と

なるよう盤石な経営基盤の確立を図るため、経営改革は今後も進めて行かなければと考えております。

また、県域JA構想・早期警戒制度など様々な課題はありますが、組合員の皆様のご理解を頂きながら、これからも『一人は万人のため、万人は一人のため』という協同組合の理念を決して忘れることなく役職員一体となって、オール宮崎中央で取り組んでまいります。」

議事は、福田誠議長（佐土原支店）のもと行われ、7議案が承認されました。

出席者数 554人 本人出席 13人 書面議決 541人

議案第1号 第25年度（令和3年度）事業報告及び剰余金処分案の承認について（報告事項）令和3年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について

議案第2号 第26年度（令和4年度）事業計画及び関連事項の承認について

- 第26年度（令和4年度）事業計画について
- 賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
本年度は賦課しない。
- 理事及び監事の報酬について
 - 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和4年度の理事の報酬については総額59,304千円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。（理事24名）
 - 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和4年度の監事の報酬については総額15,450千円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。（監事8名）

議案第3号 任期満了に伴う役員の選任について

議案第4号 役員退職慰労金の支出について

- 理事4名の役員退職慰労金については、役員退職慰労引当金規程に基づき総額9,650千円を支給することとし、各理事への支給金額についてはその範囲内において理事会に一任する。なお、本総代会をもって退任する理事は以下のとおりである。

氏名	略歴
中村 文明	平成28年4月常勤監事就任
中山 博文	平成31年4月金融担当常務理事就任
日高 捨幸	平成25年4月非常勤理事就任
小野川 力夫	平成25年4月非常勤理事就任

- 監事2名の役員退職慰労金については、役員退職慰労引当金規程に基づき総額982千円を支給することとし、各監事への支給金額についてはその範囲内において監事会に一任する。なお、本総代会をもって退任する監事は以下のとおりである。

氏名	略歴
齊藤 初行	平成28年4月非常勤監事就任
佐藤 博祥	平成28年4月員外監事就任

議案第5号 定款の一部変更について

議案第6号 固定資産の処分について

次の固定資産を処分する。 (単位：千円)

施設名	金額	場所	備考
旧赤江選果場	8,716千円	宮崎市本郷北方	時価(116,323千円)

※金額は帳簿価額です。

議案第7号 国等の施策に基づく奨励金等の事務の委任について

令和4年度中に国等の施策に基づき、農畜産物の生産、流通及び農用地等に関して、生産者が国等より支払いを受ける奨励金等(調整金、助成金一切を含む)の交付申請、請求及び受領に関する権限並びに返還に関する事務を組合に一任する。

附帯決議 本日の決議事項中、権利義務に関しない軽微な事項の修正及び法令、その他行政庁の処分又はこれに基づく指示による場合に必要な字句の修正をなすことを理事会に一任する。

報告事項 JAバンク基本方針の変更について

新役員紹介

氏名（選任区） 任期：令和4年4月28日～



代表理事組合長
栗原 俊朗
(田野)



専務理事
肥田木教久
(全域)



営農経済担当常務理事
杉尾 修一
(全域)



金融担当常務理事
石橋 雄
(全域)



理事
原井 明夫
(佐土原)



理事
長友 昭大
(宮崎)



理事
小倉 俊博
(南宮崎)



理事
池宮 清人
(南宮崎)



理事
日高 悟
(高岡)



理事
有田 秀明
(南宮崎)



理事
石川 幸保
(高岡)



理事
児玉 福一
(国富)



理事
岡本 正治
(田野)



理事
湯地 民子
(全域)



理事
鬼塚 高幸
(宮崎)



理事
野崎 義廣
(南宮崎)



理事
太田 光幸
(南宮崎)



理事
高橋 裕次
(国富)



理事
川添 ゆきみ
(全域)



理事
長谷川 清
(宮崎)



理事
長友 則道
(宮崎)



理事
西岡征志郎
(佐土原)



理事
門前 出光
(国富)



理事
高見 和幸
(佐土原)



代表監事
岩崎 次夫
(佐土原)



常勤監事
椎屋 誠
(全域)



監事
日高 正一
(南宮崎)



監事
児玉 稔
(宮崎)



監事
坂口 好和
(田野)



監事
畑崎 正紀
(高岡)



監事
白坂 要一
(国富)

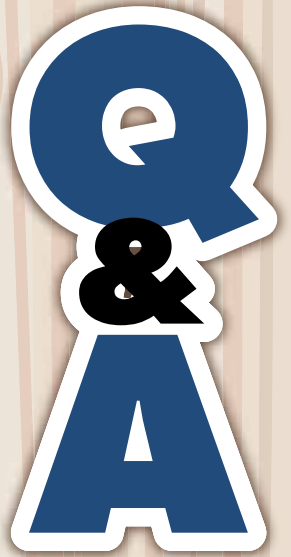


員外監事
見戸 康人
(全域)



令和4年

座談会および総代会 事前質問



本店建設Q&A

現在の状況と今後の方針について

令和元年7月に建設着工を目前に経済連との共同地区計画から離脱することを決定（計画の取り下げ）した直後、経営に大きな影響を与える環境変化が迫っていることが発覚したことにより経営改革実行を決定し、その一環として令和3年2月末まで10店舗の集約整備を行いました。現在も、早期警戒制度を含め様々な対応を迫られており、組合員の営農を永続的にサポートし続けていくためには引き続き経営改革の実践による経営基盤の強化が最優先課題であると認識しており、本店建設計画を進めていた時期とは大きく状況が変化していることをまずはご理解ください。

経営改革実践において、固定資産取得については投資回収可能性の厳格化を図っており、本店だけでなくその他の施設整備についても今後の経営改革の進捗や効果等の動向を見ながら慎重な判断を行うこととし、また本店建設に関しては、組合員の皆さまに理解を頂き店舗を再編した直後という状況を勘案すると、早急な判断ができる状況ではないとも考えております。

なお、県への対応として令和3年3月には利活用について協議計画を提出しております。利活用については今後も協議検討を行って参りますが、さまざまな方面から検証を加えながら新規事業の導入も含めて検討して参ります。

取得以降に投入した費用について

◆費用について（概要）
合計約8千万円を投入しています。※内訳は次

のとおり

- ① 本店建設にかかる建設設計、監理費用…約2,900千円
 - ② 固定資産税（通算）…約3,100千円
 - ③ 法面防災工事…約2,000千円
- ①については本店建設を進める中で必要となった費用です。②は取得時からの通算となります。③は市道整備によって残った法面にかかる防災工事費用（固定資産簿価に加算）です。

（参考）簿価の推移

取得価額	約4.2億円
売却価額	▲約2.3億円
（中央会…約1.7億、市道…0.6億）	
防災工事	約0.2億円
差引	約2.1億円
：現在簿価	

※評価額は約0.7億円となります。約1.4億円の差（いわゆる評価損）が生じていますが、あくまでも固定資産税評価が低いということであり、損失がすぐに実現してしまうものではありません。

ファーマーズマーケット 建設計画について

建設予定はいつ頃になるのか

現在はまだ詳細な協議ができておりませんが、具体的な時期も決定しておりません。当JAの新たな事業として取組みができないか検討を行って

場所についてはどこを予定しているのかまた、集客は見込めるのか

まずは遊休資産等の活用を優先し、新たな土地取得を行わないで建設ができないか検討してまいります。行政の許可等クリアすべき条件がありますので、さまざまな角度から検討を行っていく予定です。なお、その際には集客についても商圏調査等を十分に行って参ります。

ファーマーズマーケットについてしっかり検討し、本格的に進めていただきたい

ファーマーズマーケットについては管内農産物の新たな販売チャネル創造を目的として以前から取得を検討してきました。何度か実現に向けた取り組みを行いました。設置場所等の関係で行政の許可が下りなかつたりと、実現に至ることができておりません。地産地消や管内農畜産物の発信拠点として、また当JAの新たな収益確保事業として今後は再度実現化に向けた検討を行って参ります。

「県域JA構想」について

宮崎中央としてはどういう方針なのか

座談会時にご説明しました県下統一版の資料では十分な内容整理ができておらず、「県域JA設立に向けて参加を前提に協議を進めること」は是非について6月の理事会での決定は困難であると判断しております。現在は13JAと連合会の職員が中央会の事務局に向かい、新たな協議体制の

もと県域JA構想の詳細整備に取りかかっておりますので、今後より詳細な内容が整い次第、各部会組織等との意見交換を行ったうえで理事会にて再度判断いたします。

なお、当JAとしましては、今後も当初からの方針でありました「組合員の皆さまとの十分な意見交換」を県域JA検討の最優先事項とし、ご報告できる内容があれば随時説明の場を設けて組合員の皆さまと意見交換を行い、あくまで組合員の意思を重視した慎重な議論を行って参ります。また、「県域JA」の最終意思決定は各JAの総代会であり、組合員の議決による決定となりますので、ご理解ください。

現在のJA間の規模等の差は合併時にどう反映されるのか

財務面では、合併直前の状況を基準として調整（財務調整）を行う方向で検討されています。また、総代数や役員数についても、単一項目ではなく複数の項目を複合的に使用して算定することが検討されています。

当JAとしては、規模による差が十分反映されるよう引き続き協議の中で提案して参ります。

県内他JAの経営改革の状況はどうか

他JAにおいても早期警戒制度への対応は必須であり、JAグループとして経営基盤強化に取り組んでいるところです。規模の差はありますが、当JAに先駆けて店舗や施設の集約等に着手しているJAもありますし、それぞれの手法で改革への取り組みは行われているようです。なお、経営基盤強化への取り組みは、県域JAとは関係なくそれぞれのJAが単独でも事業継続するために必要な統一の取組みとして掲げられております。また、当JAとしましては合併前に各JAが経営改善に取り組むべきとした主張を続けております。

合併によってまた店舗統廃合があるのか

現在の県域JA構想協議においては、合併を理由とした店舗統廃合はないものとして検討がなされております。基本的には地域に軸足を置いた運営を目指しており、営農施設等も含め現状のまま引き続き利用頂きます。ただ、県域JAとなった後の経営環境の変化への対応や事業展開の方針に

1. 令和3年度 経済事業奨励の考え方について

1) 生産資材部門 129,120,471円

項目	内容
飼料	令和3年度年間の全品目供給金額に対し、3%の戻し
肥料	令和3年度年間の全品目供給金額に対し、3%の戻し
農業	令和3年度年間の全品目供給金額に対し、2%の戻し

2) 燃料部門 77,721,965円

項目	内容
営農用重油供給戻し	施設園芸：令和3年10月1日～令和4年1月末までの供給数量に対し、5円（税込み）/Lの戻し 茶：令和3年3月1日～10月31日までの供給数量に対し、10円（税込み）/Lの戻し
営農用灯油供給戻し	干し大根：令和3年10月1日～令和4年1月末までの供給量に対し10円（税込み）/Lの戻し
木質ペレット供給戻し	令和3年度の木質ペレットの供給数量に対し、5円（税込み）/kgの戻し
営農用軽油供給戻し	令和3年度の営農用軽油の供給数量に対し5円（税込み）/Lの戻し

2. 燃油・飼料 価格高騰に伴う特別対策について

1) 生産資材部門 17,413,191円

品目	支援名	対象期間	内容
飼料	畜産総合経営安定対策 【供給形態 パラ配合飼料】	令和3年12月1日～令和4年1月31日までの供給分 「令和4年3月31日までの供給対象」	<肥育>配合飼料（バラ）の供給実績を基準に、【3,000円/トン】を供給都度値引きを行う。
			<繁殖・育成>配合飼料（バラ）の供給実績を基準に、【1,500円/トン】を供給都度値引きを行う。
			<乳牛・全酪>配合飼料（バラ）の供給実績を基準に、【2,000円/トン】を供給都度値引きを行う。
			<豚>配合飼料（バラ）の供給実績を基準に、【5,000円/トン】を供給都度値引きを行う。
			<育雛・成鶏>配合飼料（バラ）の供給実績を基準に、【2,000円/トン】を供給都度値引きを行う。
	畜産総合経営安定対策		<全畜種>各畜種の配合飼料（袋物）の供給【kgあたり】を基準に、代金決済口座振込を行う。 （令和4年2月25日に振込）※
保温強化資材	燃油高騰緊急対策 （保温対策強化資材の導入）	令和3年8月1日～令和4年1月31日までの供給分 「令和4年1月28日までの発注分で、2月28日までに供給」	指定する保温強化資材の供給金額に対し、【1/2】を助成する。 （エコボカプチ、サニーコート、サニーカーテン、スカイコートエアプラス） （令和4年2月25日に代金決済口座に振込）※

2) 燃料部門 14,483,117円

品目	支援名	対象期間	内容
重油	営農用A重油価格高騰対策	令和3年10月1日～令和4年1月31日出荷分 「令和4年3月31日の供給分まで」	<A重油>供給数量に対し、【1円/L】を助成する。 （令和4年2月25日代金決済口座に振込）※

※令和4年2月1日から令和4年3月31日までの供給分は令和4年4月25日に代金決済口座に振込

3) 合計（税込）：238, 738, 744円

よって、施設の再編等が必要になってくる可能性もあります。しかし、これは県域JAに限ったことではなく現在の各JAにおいても同様であることはご理解ください。

連合会も一つになるということ、それぞれ各連の役割はどうなるのか

連合会は現在の各連の行う事業分野を県域JAにおいても担うこととなります。つまり、各JAと県連という段階はなくなり、現在のJAの事業を一緒に運営していくこととなります。ただし、共済連についてはすでに全国共済連となっておりますので県域JAとしての合併はできません。

県域JAの決定方法について

合併にあたっての手続きとしては、合併にかかると理事会決定を経て最終的には臨時総代会において決議することとなります。（令和5年予定）
なお、令和4年6月の「県域JA設立に向けて参加を前提に協議を進めることのは非」にかかる判断は、最終の合併決定ではありません。

県域JAに参加しなかった場合はどうなるのか

県域JA構想の基本は、全JAと連合会による宮崎県JAグループの合併構想として宮崎県JA大会において決議されたものです。よって基本的には全JAの参加を想定しており、離脱JAがあることを想定とした協議はなされておられません。当JAは単独でも経営を継続できるように経営改革を行い、経営基盤強化に取り組んでおります。

現在県域JAとなっている県はどういう状況か

1県1JAは5JAありますが、その中で一定の年数が経過している沖繩については、事業総利益の減少率が本県13JA合計の減少率より小さくなっているということが令和3年11月の「県域JA構想に係る組合員代表者との意見交換会」の資料には示されており、ただし、県域JAに至った背景や理由が違うことを考慮すると、単純に参考にするにはできないと思われれます。

農民連盟のヒストリー

要請活動について

（コロナの影響、燃油価格高騰等を踏まえて）

燃料や資材のコスト上昇にかかる情勢は十分理解しておりますので、助成措置等、県選出の国会議員等を通じて国への要請をして頂いているところであります。しかし、現時点で新たな施策は示されていないのが現状ですので引き続き要請を行って参ります。

※令和3年度宮崎県農民連盟の主な活動

【県選出国会議員】

7月30日 長峯誠参議院議員と県内農政課題に関する意見交換

8月10日 江藤拓衆議院議員と県内農政課題に関する意見交換

8月10日 古川禎久衆議院議員と県内農政課題に関する意見交換

11月11日 新型コロナウイルス対策の継続・強化や生産基盤対策等の確保など、本県農業振興に関する事項を県選出国会議員に要請

【政党に対する要請】

7月13日 公明党宮崎県本部に対し、国政・県政に関する農政課題を要請・意見交換

7月15日 自民党県連に対し、国政・県政に関する農政課題を要請・意見交換

農民連盟拠出金の徴収方法について

農民連盟拠出金の徴収方法については、平成22年度の代議員会で決定されましたが、当時の協議の中でも、不公平さや連盟の意義の徹底等について議論が行われました。本来であれば農民連盟の主旨に同意される盟友全員から、会費として徴収することが理想的ではありますが、正組合員全員を個別訪問して徴収する負担、また現金を集金する事故の危険性、何人集まるかの不安定性、未収の扱いなどを考慮した結果、現在の方法となったものです。他のJAの徴収方法は様々ですが、どれも前述の問題点を解決できるものではありません。農民連盟は政治団体であることから政治資金規正法の規制対象となりますので、徴収の方法に

については慎重な議論が必要です。
なお、今年度、再度代議員会での協議を予定しております。

座談会 資生(じし)の

総合損益計画書の事業利益及び当期剰余金が前年度実績と比較すると少なく計画しているが、大丈夫なのか。

令和3年度については、コロナの影響によりさまざまな取組み(イベントや会合、出張、会議等)が中止となり、経費の執行がされなかったことが当期剰余金増加の要因の一つとなっております。一方、令和4年度計画については、すべての取組みにかかる経費等が通常通り執行されるものとして作成していますので、結果として令和3年度と比べて減少しているかたちとなっております。今年度も自己改革に努め、計画以上の成果を上げるよう役員員全体で取り組んで参ります。

総合損益計画書の減損損失と組合員支援の内容について教えて頂きたい。

令和3年度決算における減損処理の主な資産は、ビニール加工場、一部の選果場であります。この減損損失処理の目的は、経営改革を基礎として来年度以降の事業効果を狙ったことにもあり、具体的には、この減損処理によって令和4年度の減価償却費が約2,800万円減少し、かつ将来にわたって事業管理費抑制効果があるため、事業利益増加に繋がるものであります。

また、令和4年度計画には組合員支援として5,000万円を計画しておりますが、これは計画策定にあたり組合員支援を最優先項目として先ずは最低限の金額を確保することを前提として各部の取組を計画したことによりです。自己改革にもありますように、当JAは常に「農業者の所得増大」を目指して事業を展開しており、事業成果によってさらなる支援措置や還元が出来るよう役員員をあげて努力をして参ります。

事業分量配当が毎年2億程度支出されているが、これだけの配当ができるのであれば、購買品の価格を下げる努力をしてほしい。また、毎年この金額を配当することを見込んで剰余金を出して

いるのではないかと。

毎年、事業分量配当ができておりますが、あくまでこれは組合員の所得向上を第一の目的として事業に取り組んだ結果として可能となったものです。購買品の仕入につきましては、子会社の(株)アグリプラスが価格交渉や一括仕入強化を行い、常に組合員の皆さまに安い価格で供給できるよう努力しておりますので、事業分量配当は決算における追加の措置であることをご理解ください。今後も更に組合員の皆さまの所得向上に繋がるよう価格抑制に努めて参ります。

営農部

米価下落が急激に進む中、稲作生産は先行きが不安定な状況となっている。今後の米穀情勢について教えてほしい。(宮崎)

全国的な需給見通しについては、国は令和4年度の需給均衡には26万ha減産が必要との見方を示しており、面積換算で4万haとなっております。

令和2年のコロナウイルス感染拡大以降、インパウンドや外食需要が減少し、依然として需要が回復していないため、過剰在庫により米価が下落し、今後も厳しい状況が続くことが懸念されます。当JAでは、早期米においては県下5JA・経済連一体となって販売計画を組み、販促等の営業活動を行っております。本年産も可能な限り営業活動を実施し、各卸との事前契約の積み上げに努めて参ります。

また、JA改革の一環として早期米コシヒカリの約5割を米卸4社へ直接販売し、コスト抑制・所得率向上へ繋げております。また、パレット輸送を実施することで物流費を抑制しており、今後も生産者手取向上となるよう継続して販売に努めて参ります。

普通期米については、経済連・ミヤベイ直販と一体となり宮崎県学校給食会等への高値販売に努めております。

施設園芸等燃油価格高騰対策「施設園芸セーフティネット構築支援事業」について内容を教えてほしい。(宮崎・田野)

本事業は、計画的に省エネに取り組む施設園芸産地を対象に、燃油価格の高騰時に補填金が支払

われる国の事業であります。

支援内容は、加温期間中(10月〜翌年6月)において、月単位で燃油価格が一定基準を上回った場合に、その差額に補填対象となる数量を乗じて補填金として交付される内容となっております。令和3事業年度については、A重油の場合で全国平均価格が83・1円/リットルを上回った場合にその差額の補填金が交付されることとなります。

また、補填金の財源については、国と生産者が1:1の割合で積み立てる資金が財源となっておりますが、生産者の負担を軽減するため、一定の要件を満たした場合に限り、令和3事業年度についても、JAが立替(6億6,863万6,000円)にて資金を積み立てる独自の措置を講じております。

①宮崎中央水田営農研究会が令和3年度の事業報告の中で出ていたが、農地の維持管理等含めた活動内容を教えてほしい。(宮崎)

②農地の維持・管理・処分は組合員として切実な問題であると思う、利益の出ない問題であるが、組合員の問題として取り組んでいただきたい。JAとしてこの問題にどのように対応していくのか教えてほしい。(宮崎)

①県農地中間管理機構、県中部農林振興局、宮崎市、国富町、農業委員会とJAで、令和2年から組織され、重点支援地域として、宮崎市では、生目地区(富吉・跡江)住吉地区(青水)、国富町では上田尻地区を設定しております。研究会の活動については、発足と同時に新型コロナウイルスが発生し、休止の状況であります。今後は、水田の二期作・二毛作を含めた研究を行って参ります。

②農地の維持・管理、処分については、農家の高齢化・担い手不足の中で耕作放棄地等が増えてきていることが懸念されております。相談の窓口は、農地中間管理機構(県の農業公社)や農業委員会になります。関係機関とJAで連携しながら、規模拡大志向農家等を対象に農地の仲介を進めております。また、地域農業の再生・活性化を目的とした「人・農地プラン」があります。こちらは集落営農になりますが、集落内で話し合い、活性化させていこうというプランもあります。

今後関係機関と一体となり、農地の維持・管理等について取り組んで参ります。

主食用米生産等の小規模農家は、作付けを行っても採算が取れない状況にあるため、支援を考えたほしい。(宮崎)

近年はコスト高により、売り上げから経費を引くと所得が少なくなっているのが現状なので、各種要望は継続して行なって参ります。今後は、宮崎県だけでなく、他県や九州地域で一体となり国への要望を出していきたいと考えます。今後も農家支援対策に努めて参ります。

新規就農者に対する補助は手厚いが、既存農家に対する補助をもっと考えてほしい。(田野)

新規就農者の確保・定着と併せ、認定農業者を始めとする既存農家の経営維持・発展もまた産地力向上に欠かせないものと認識しております。補助事業に関しましては、新規就農者に限らず、事業の要件を満たした上で目的や用途に応じた様々なメニューがございます。

今後も、農業情勢を踏まえた補助事業の拡充や運用の改善等、要請活動に取組んで参ります。

JAに土壌診断をしてもらった。肥料の見直しなどを行ったところ、コストがかなり抑えられた。積極的に出向く活動を行い、農家のコスト削減などに二躍かってほしい。(高岡)

各営農センターに営農指導員を配置しており、農産物・品目ごとに担当者がおりますので、土壌分析による適正施肥の診断を行い、コスト削減に向け取り組んで参ります。

インシシ等による畑・田んぼへの被害が多発している。行政は対応しているが、JAとしても何らかの対策・対応に取り組んでほしい。(高岡)

中部地域鳥獣被害対策チームや宮崎市有害鳥獣対策協議会において、関係機関と連携した対策を行っております。電柵については行政・共済組合の補助事業がありますが、要望が多い状況でありますので、JAからも行政に対し補助事業の拡充等について要請を行って参ります。

新型コロナウイルスにしても、ウウライナにしても正に

その通りなことが起きている。特にウクライナに
関しては資源問題を考えさせられた。食料安全保障
障が叫ばれる一方で、自給率は38%低下、食生
活の変化とともに畜産・野菜・果樹等の収益性の
高い物へと変わり、水田農業は脇役へと追いやら
れてしまった。食管理度のもとでは、米価は下落
する一方である現状をふまえて、小なりといえど
生産者の1人としてJAは生産者組織としてどう
捉えているのか？またJAの合併に関しては現在
も判断が難しい状況だと思いが、一番の関心事
は団塊世代の農業からのリタイヤだと思う。す
でに始まっているがそう遠くない将来に確実にや
ってくる。そうすると信用・共済・購買事業・出資
迄影響が及んでくる。色々あると思うが合併以
外に選択肢はありえないと思う。問題はそれ
である。減少した分にかにカバーしていくか。そ
れは准組合員や一般消費者をどのように取り込
むかにかかっている。今、都市生活者は約8,000
万人といわれ、情報発信が必要だと思う。そも
外部のPRを使ってでもする必要があるので
一人でも関心を持っていただければ幸いです。

(佐土原)

ご指摘のように生産者の高齢化や栽培品目の変
化などにより、耕作されない水田や畑地の拡大に
歯止めがかからない状況が続いています。また米
穀類の生産額を見ると、当JAの販売高に占める
割合は3%、県内JA全体でも4%という状況で
す。しかしながら基幹作物である米と水田の重要
性は何ら以前と変わることはないと認識していま
す。生産組織と課題を共有しながら、国への働き
かけや地方自治体との連携を図るとともに、販売
面におきましてもJA独自販路の維持確保などに
取り組んで参ります。

またコロナ禍やウクライナ危機、それによる食
糧安全保障が言及されており、「自給率が下がっ
ても、世界市場から買い求めれば問題ない」とい
う国内の一部にある楽観的な輸入依存論がいかに
根拠のないものかが明白となり、加えて資源不
足などの影響により、農業と食料を巡る状況は
「生産する（生産コスト高騰・生産者数減少）、輸
送する（ドライバ不足・燃油高騰）、消費する
（コロナ禍による消費動向変化・インフレ）」とい
う全ての過程で大きな変化を余儀なくされていま
す。これらのことは、県域JA構想検討の端緒と

なった「農業の生産基盤、JAの組織基盤、JA
の経営基盤を巡る情勢の変化」を加速する要素に
もなりかねません。

県域JA構想の検討におきましては、農業生産
や販売を支える機能の維持、販売代金や購買資金
などとして組合員と地域、JAを循環するキャッ
シュとそれを送り出すポンプ機能である信用事業
の堅持、さらにはご指摘の情報発信も含め将来に
向け今後取り組むべきことなど、あらゆる角度か
ら検証・検討しつつ組合員組織の皆様との意見交
換を行って参ります。

ジェイエイファーム

(南宮崎) ジェイエイファームみやざき中央の経営状況
はどうか。また、次世代施設園芸ハウスの状況は
どうか。(宮崎・南宮崎・佐土原)

ジェイエイファームでは、育苗事業、農業経
営事業（次世代施設園芸、新規就農研修事業等
様々な事業を展開しておりますが、農業経営部門
（次世代）では病害虫被害による収量減及び資材
費高騰、単価安が大きく影響したことに加え、労
務費において最低賃金上がった事などから厳し
い経営状況となっております。令和4年度では、
雇用のあり方や事業の進め方などを十分に検討し
ながら経営改善に向けて努力して参ります。
併せて、これまで蓄積した次世代ハウスの環境
データ等を分析し、営農部と連携を図り、品質、
収量アップへの取組みに努めて参ります。

水稲苗の価格が値上がりしており、休耕田も増
え、肥料や農薬の価格も高騰し、水稲作付も非常
に厳しい状況になってきているが、今後作付けを
継続していく上でも水稲苗を安く供給できないの
か。価格が上がった理由を知りたい。

(南宮崎)

水稲苗価格につきましては、平成9年JA合併
以来価格据置きで取り組んで参りましたが、資材
費、人件費の高騰及び機械（播種プラント他）老
朽化による更新が必要となり、昨年より価格改定
を行いました。今後につきましては、可能な限り
コスト削減に努め、良質苗の安定供給に努めます
のでご理解をお願い致します。

昨年の飼料用イネ（7月出荷分）苗について、
徒長しており品質が悪かった。他の支店では、値
下げ対応をしたと聞いたが、支店間で対応の差が
あったのではないか。(国富)

昨年、5月下旬に「断原ブロック、田野育苗セ
ンター」から出荷しました飼料用稲、ヒノヒカリ
の苗に付きまして、徒長、根の張りが弱く崩れた
り、移植後に苗が枯れる症状が発生しました。県
の普及センターに同行して頂き、現地を調査した
際も生育が遅れ、回復が難しいといった症状が確
認されましたので値下げを対応させて頂きました。
昨年5月は長雨と高温が続く徒長傾向に生育し、
併せて根の発根が間に合わなかったことが一番の
要因であります。

国富育苗センターで7月中旬に出荷した飼料用
苗は徒長はしてはしましたが、根の張りに問題は
無く、田植え後の生育に若干の遅れは見受けられ
ましたが、その後の回復も確認できたことから、
値下げ対応まではしていませんでした。

今後は、特に7月の育苗は高温により徒長する
事が懸念されますので、床土成分及び育苗日数の
見直しを行い健苗育成に努めて参りますので、ご
理解をお願い致します。

ジェイエイファームの新規就農研修事業の内容
等を教えてください。(南宮崎)

新規就農研修事業につきましては、関係機関と
の連携を図り研修を実施し、農業経営面では普及
センターを講師に座学を実施しており、営農部と
連携し栽培管理及び認定新規就農資格を受ける計
画書作成等をサポートしております。累計144
名の新規就農者を輩出し、地域農業の維持に貢献
していることは全国でも注目されており、平成30



年度担い手部門にて農林水産省経営局長賞を受賞
しております。

販売部

干し大根部会に所属しているが、JA食品加工
場で製造販売をしていた頃よりも、価格面、取引
数量において生産者の立場が弱くなって行ってい
る。日本農業遺産登録しているが、今後、伝統の
形が無くなるのではないかと心配です。(田野)

価格設定につきましては在庫状況・販売情勢な
ど県内取引先の原簿情報を収集し総合的な観点か
ら判断を行い決定しております。また、取引数量
につきましては契約取引となっておりますので、
契約頂きました数量につきましてはしっかりと受
入れを行っておりますが、受け入れ数量の確保が
出来ず販売面でのチャンスロスが発生しているの
が現状であります。日本農業遺産につきましては、
現在、JA商品の製造委託業者に向け、商品パッ
ッケージへのシンボルマーク表示をお願いし販売拡
大とPRに努めております。

漬物大根を食品加工場に出荷しているが、工場
を閉めて2年になるが、受入はしているが生産者
としては工場が無くなる不安になる。今後の考
え方を聞きたい。(田野)

食品加工場につきましては、原料販売に特化し
漬け込みをしなくなると2年目となります。毎年
漬け込みをしているときは、工場の老朽化による
修繕費、人件費など大幅な赤字がでておりました。
しかし、農協が受け入れをしなくなると受入価格
が崩れるので、今後も事業継続に努めて参ります。

干し大根の買取価格設定について教えてください。
また、規格外品の受入を行わなかった経緯につい
て事情が知りたい。(田野)

価格につきましては、取引先の在庫状況や販売
情勢等を踏まえ総合的に判断したうえで決定して
おります。規格外品につきましては、業務需要が
中心でありコロナ禍のなか各社在庫を多く抱えて
いる状況において、取引が困難となり部会に理解
を求めた経緯がございます。今後は、全規格が取
り扱えるよう営業強化に努めて参ります。

千切大根の仮渡金が3,500円(10kg当たり)で始まり、高くても4,000円であったが、その価格帯は10年くらい前の相場である。経費等も上昇しているので仮渡金にも反映してほしい。(宮富)

仮渡金の価格はせんざり大根の在庫状況や販売状況等、競合他社の状況等を総合的に判断して決定しております。他社との価格差については定期的に調査しており把握しておりますので、最終的には他社に負けない価格となるよう追加精算が出来るよう販売に努めます。

JAではインターネットを利用した販売は行っていないのか。販売力の強化をお願いしたい。(宮富)

新型コロナウイルス以降、インターネット販売の需要は伸びており、今後も引き続きインターネット会社と連携し、インターネット販売強化に努めます。

有利販売とは何を根拠としているのか。JA宮崎中央として農産物をどのように販売していくのかビジョンを聞かせてほしい。他産地との差別化を真剣に考えていかないとけないし、販売部だけでなくJA宮崎中央全体で考えてほしい。(宮富)

ブランド品目を中心に販売量の確保、生産部会と協議し品質向上に努め競合産地との差別化を図りつつ契約販売の充実、マーケットインを意識した販売を行っております。なお、日々の販売情勢及び市況動向について情報収集に努め取引先との価格交渉を行うことで有利販売に努めて参ります。

きゅうりやピーマンなど、農産物の販売価格低迷が目立っている。燃油をはじめ、肥料や農薬など経費が上昇しており、経営を圧迫している状況が続いている。これまで販売価格安定のため、取り組んで頂いていると思うが、販売価格上昇に向けた販売事業を積極的に展開してほしい。(宮富)

青果物においては、天候など生育環境の変化から増減があり、品物を滞留させず動かすことが重要である為、コスト上乗せでの販売が難しいのが実状であります。また、消費者は良い品を安く買うといった考えを強く持っております。

しかし、市場と協議を行う機会があるたびに経費上昇を含め厳しい生産環境であることを伝えており、市場から先の商談時においても情報発信を行うよう要望し、販売単価に反映できるよう努めて参ります。

この度宮崎カーフェリーに新船が就航し、JAも販売面では物流手段であると思われませんが、是非有効活用をお願いしたい。ただ、トラックドライバの確保が急務であると聞いているが、その解決のみならず資材などの仕入れ商品調達に復路を活用する等も考えらえるのではないかと。(南宮崎)

これまでもフェリーを活用した輸送を実施しております。今回の新船につきましては乗船台数が拡大され、ドライバの労力軽減を踏まえ輸送会社の更なる利用が期待されます。(当JAフェリー利用実績・海上コンテナ689基、トラック1020台)【販売部】

高、生産資材の復路活用による納品につきましては、系統グループ及び契約先との取引のなかで提案をして参ります。【経済部】

経済部

令和3年度の経済事業奨励(事業分量配当金)と価格高騰対策の内容について教えてほしい。(南宮崎・高岡)

令和3年度につきましても組合員皆様のご理解とご協力を頂き、総合事業において計画以上の実績をあげることができましたので、昨今の農業経営を考慮し組合員支援対策として事業分量配当金の支出を予定しています。また、系統組織と連携のもと、情勢の影響を大きく受け価格が急騰しました飼料・燃料において対策を実施しました。

生産資材・燃料の価格が値上がりしているが現在の対策を教えてください。世界的な情勢もあるが、農業経営が懸念される。業者の方が安い商品もあるので、今以上の価格対策に努めてほしい。(主文店)

㈱アグリプラス及び園芸・畜産部門と連携のもと、海外原料に依存し価格が高騰している肥料・飼料につきまして、主要品目の早期大口仕入や予

約購買による価格引下げに取組み、値上げ幅の抑制及び商品の安定供給を図りました。併せて、従来の大口ランク・予約自己取り奨励に加え、各部門におけるJAオリジナル商品の推進をはじめ農薬・園芸畜産資材等の特別価格キャンペーン等を実施しております。

しかしながら、引き続き世界的な経済活動の制限など地政学リスクやウクライナ情勢により、今以上の原料価格の高騰等が懸念されます。

本年度におきましても関係部署一丸となり、情報範囲を広げた確かな判断と幅広い交渉のもと最善の仕入れ策を追求・実践し、可能な限りの生産コスト抑制対策に取り組みを参ります。その為には、早期取りまとめによる数量の確定が不可欠であり、今以上に予約購買を強化する必要がありますので担当者が巡回に来ましたら、是非、予約注文のほど、宜しくお願い致します。

また、燃料部門につきましては、事業分量配当金の支出及び系統組織と連携による価格高騰対策と合わせて、燃油セーフティーネット事業の生産者負担金の立替えを行いました。今後につきましても㈱アグリプラスと連携による仕入機能の強化に加え、営農関連部門と一体となり国政等へ価格対策の要請をして参ります。

ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルス等の影響により飼料の仕入れに影響がでていのではないかと。(田野・高岡)

飼料原料につきましては、ウクライナ情勢によりヨーロッパ諸国の輸入先がロシア・ウクライナから日本の輸入先であるアメリカ・カナダ等に移行したことにより、需要が大幅に増加したことに加え、経済活動の自粛・制限や船舶会社の一部撤退により不安定な輸入が続いております。

特に、粗飼料については入船遅れと産地の干ばつ等の影響を大きく受け、需給が逼迫しております。また、精麦加工の副産物であります麦カ類においては、醸造技術の向上や外国産大麦の価格高騰を受け製造量が減少しており出荷量の調整をせざるを得ない現状であります。

このような状況を踏まえ、今後につきましても畜産部・系統組織及び行政等と一体となり、代替品の迅速な対応や飼料給与、自給粗飼料の拡大、水田活用交付金の活用等畜産生産者へ案内を強化し

て参ります。

SSのガソリン価格が他店と比べて10円程高い。(セルフスタンドで単価173円は高いと思う。フルサービスのガソリンスタンドと同額はどうかと思う。)正組合員価格の設定等で同等にならないか?(宮崎・南宮崎・佐土原・高岡・宮富)

日頃のご利用ありがとうございます。ガソリン等の販売のみに特化したSSとは価格差が生じておりますが、JA S Sにおいては組合員や利用者のために、営農用灯油や軽油の配達・施設園芸用重油の配達や管理、その他タイヤ・オイル・ワイパー交換や洗車等のあらゆるサービスを行っております。また、皆様から愛される「地域密着型SS」を目指して組合員も一般顧客も同様の価格を設定しておりますのでご理解ください。今後も、サービス向上に努めて参ります。ご利用よろしくお願致します。

国が、燃料価格高騰対策を行い、補助金(25円)を支給しているはずだが、JAはどのような取扱いを行っているのか?(南宮崎)

燃料価格高騰対策については、国が元売事業者などに補助金を支給することでガソリン等の卸価格の上昇を抑制し、小売価格の上昇を抑える事が目的となっております。この事業については、元売事業者に支給している補助金であり、直接JAに補助金が支給されるものではありません。JAについては、補助金支給を受けている元売事業者より仕入れており、価格抑制後の仕入れ値にて販売を行っております。

なお、補助金支給は元売に発動されていますが、それ以上の原油価格高騰が続いている為、ガソリン小売価格は高止まり状態となっております。

スマートフォン等で資材価格の提示・注文が可能なシステムができると便利になるが、構想はないか。(田野)

インターネットでの情報提供や商品の販促・注文が普及し定着している環境にあるなか、JAにおいて導入に向けての協議を進めて参りましたが、JA管内での供給制限や組合員の高齢化による利用者の懸念及び購買システムとの運用の関係など解決すべき項目が多様にあり、導入に至りません

でした。

しかしながら、若い世代の組合員を中心に導入要望が多く聞かれますので、経済部・㈱アグリプラスとの連携による農薬販売サイトの導入検討に向けて再協議を開始したところであります。これから受発注体制・決済方法等の協議に入りますが、現在のところ具体的なスケジュールをお示しすることができませんので、ご理解のほどお願いします。

【二ノル展張については、青年部でんばる隊での活動と委託業者で行っているが、青年部・委託業者とも引受件数に限界がきている状況である。委託業者へ過度な負担となっていることも聞いたので、今後の改善をお願いしたい。(佐土原)】

現在の二ノル展張につきましては、JA青年部でんばる隊で引受できないものについては、関連会社と入念な打合せのもと作業を委託し事業を進めております。しかしながら、近況では展張依頼件数が増加傾向にある一方で、天井のみの仮止めのみでは無く、本止め・サイド張りなど全ての展張要望もあがっているなど今後の対応等が懸念されます。今後におきましては、作業の在り方、人員対応等を含めて協議・検討を進めて参ります。

【飼料作肥料キャンペーン同様、他の商品についても実施して欲しい。(国富)】

牧草用550号につきましては、銘柄集約が進み肥料の取扱数量最上位の商品であります。年3回の自己取り方式による供給が中心となっていることで価格抑制が図られております。

今後の肥料情勢は過去に無い非常に厳しい状況が考えられますので、価格対策の一環として、予約注文のご理解と協力を頂き、主要品目を中心に期間限定による自己取り方式の供給を推進して参ります。

【共同購入品の仕組み変更により、利用者が減少するのではない。(国富)】

令和4年4月より共同購入品の供給につきましては、全国JAで取扱が増えています「JAくらしの宅配便」を県内JAに先駆け開始を致しました。インターネットでの注文や個別配送にすることで4000円未満の購入において運賃が発

生するなどご負担をお掛けしますが、注文時間の制限も無く、取扱アイテム数が増え(200アイテムから1000アイテム)、季節に応じた企画も充実しております。

今後につきましては、女性部を中心とした商品研修会の実施に加え組織生活担当職員と連携のもと、共同購入品の更なる普及に努めて参りますので、是非、ご利用のほど宜しくお願い致します。

【農機具の修理を依頼しても、人員不足で時間が掛かる。特に、農繁期になると修理が多く時間が掛かっている。(田野)】

ご依頼を受けました整備につきまして迅速な対応に努めておりますが、農繁期・整備時間等によつては混み合い対応が遅れる場合があります。ご迷惑をお掛けしております。今後につきましては、メーカー・支店間との連携を強化し、繁忙期に備えた格納・確認点検整備の促進及び応援体制の強化を図り、対応力向上に努めて参ります。

金融部

【年金友の会の取り組みは、一部の利用者に向った行事が多いが、会員全員に平等な取り組みをお願いしたい。(南宮崎)】

現在、年金友の会での取り組みは、ブランドゴルフやパークゴルフ等のスポーツイベントが多数あります。本来ならば、支部総会でのイベントや企画旅行等、その他の取り組みもございしますが、新型コロナウイルスの影響によりやむを得ず自粛させていただいております。

今後はスマホ教室や各種キャンペーン等、会員様全員に寄与できる取組みを検討して参りますので、その際はご参加をお願い致します。

【共同の農産物販売所を運営しているが、売上の硬貨をJAで入金する際の硬貨手数料について、検討してほしい。(高岡)】

大量硬貨入金手数料につきましては、昨今の低金利環境下で県内他行が導入する中、当JAは実施を見合わせておりましたが、事業の健全性確保、および窓口での業務負担を鑑み、令和3年10月よりご負担をお願いしております。なにとぞご理解いただきますようお願い致します。

【毎月集金にくる職員に「もう集金はできないので口座振替が窓口を持ってほしい」と言われた。統廃合した時、組合員さんに迷惑をかけない様になりますと言っていたのになぜか。(佐土原)】

ご迷惑をお掛けし申し訳ございません。統廃合に関係なく、現在JAバンクの現金集金業務につきましては不祥事発生防止の観点から全国的に廃止が進められております。現金を伴う業務以外(相談等)につきましては、これまで通り渉外担当(LPC)が対応させていただきますのでご理解をお願い致します。

【新規就農者や、新しい作物に挑戦する人のために農業所得に比例した利率で借りられる融資プランを作りたい。(宮崎)】

新規就農者に対しては無利子の青年等就農資金で対応が可能です。新しい作物に挑戦する人(既存作物からの転換)に対しては低利の制度資金に対応が可能です。詳しい内容については各支店融資窓口又は融資渉外担当者までお問合せ下さい。

共済部

【コロナウイルスに感染し、自宅療養となった場合、共済金は支払われるのか。(田野)】

医療機関等の事情により、宿泊施設や自宅等での療養を余儀なくされた場合も、所定の証明書を提出いただくことで入院共済金のお支払対象としてお取扱いたします。(※ご契約ごとに定められている所定の条件を満たす必要があります。)

【他会社は保険専門であるため、事故等あった際にJAの保険だと不利になってしまう。3・4年での異動を繰り返しては他会社には対抗できないので、専門的な職員を置いてほしい。(田野)】

令和元年12月より自動車事故処理体制移行に伴いまして、JAでは事故初期受付、現場急行、全共連では損害調査、示談交渉を行うことで業務分担しております。この自動車事故体制移行に伴い、全共連では自動車調査のみの専門審査員を配置し、より専門性を高めております。

総務部

【近年、優秀な指導員が異動や退職による入替わりが多く指導員も不足していると思う。職場環境に問題があるのではないかと、指導員は良い牛や悪い牛を見極める大事な役目があり求心力が落ちていくと感じる。また現状、営農指導員が男性だけで構成されている為、女性指導員の登用を行い現場で動ける女性職員の育成をして頂きたい。(女性職員なら話しやすいこともある)また、指導員の人事については経験年数の浅い職員が増え、組合員の方が詳しくなってきたり、今後どう考えているのか。(宮崎・南宮崎・国富)】

畜産部の退職については、就農・介護職・大学事務などの次の就職先が決まった上での退職等であり、指導員も不足しておりますので、今後、人事担当課を含め検討して参ります。また、男性だけで構成されている職場環境も多く、指導員育成には時間を要する為、専門知識のある職員雇用や今すぐ実行とはいきませんが男女共同参画社会等を鑑み、女性指導員の登用も含め、ご意見を参考に、組合員の皆様からもご相談し易い環境づくりを行っていくよう検討して参ります。

また、新規採用職員の配置や人事ローテーション等により経験年数が浅い指導員もおりますが、自らが優秀な組合員の技術を学び、担当者同士でも情報共有を行いながらスキルアップができるよう努力して参ります。

【新総代の研修会の開催をお願いしたい。初めて総代になられた方がわからないまま会に出席しないといけない。(高岡・国富)】

貴重なご意見ありがとうございます。昨年5月が総代改選でありましたが昨年度はコロナ禍で総代研修会を行いませんでしたので、今年度についてはリモートでの開催も視野に入れつつ実施していきたいと考えます。

【昨年、生支店店は北支店と統合したが、共済窓口に行くと、毎回30〜40分待たされる状況である。統合後の人員配置等はしっかりされているのか? 組合員、お客様にとって利用しやすい環境づくりをお願いしたい。(高岡)】

しっかりと説明をさせて頂くよう指導しております。窓口もできる限りスピーディーな対応を心掛けておりますが、時間を要する場合がございます。皆様には大変ご迷惑をおかけしております。

なお、JA等の渉外担当でも対応できるものもありますので、支店窓口等へご連絡を頂けたらと思いますのでよろしく申し上げます。また、人事にしましては、事務改善を含め共済部及び総務部でも協議中であります。

最近の職員人事について不満がある。共済渉外から営農指導員へ異動した事例など聞いている。どう考えても無理がある人事である。適材適所を考えた人事をお願いしたい。(国富)

要望・意見として受けさせて頂きます。人材育成上の教育的効果と不祥事未然防止等のコンプライアンスにかかる事故防止を目的として、人事ローテーションを行っておりますが、職員が最大の能力を発揮できる適材適所を考慮した人事異動を目指しております。

しかしながら、全ての職員が希望通りにならないのも現実です。今後も人材育成を目指した人事異動に取り組んで参ります。

店舗統廃合により職員の減少で仕事量が増加し、休職する職員もいると聞くが、業務の改善等を考えてほしい。(宮崎)

令和3年3月より支店統廃合し、組合員の皆様には大変ご不便をお掛けしております。また、その影響で窓口が混雑するなど一時的に仕事量が増加し、各関係職員に負担をかけてまいりました。また、統廃合関係なく以前よりJAでは産業カウンセラーを配置しており、メンタル不調未然防止とメンタル不調者の職場復帰に取り組んでおります。今後も職員の健康を第一に考え、働きやすい職場環境づくりに努めて参ります。

職員個人に支給されている携帯は異動があると変わるようだ、異動で支店や部署が変更となっても同じ携帯というわけにはいかないのか。個人的には不便である。(宮崎)

公用携帯については、個人に貸与しているわけではなく、各部署、各課に貸与しており、部署異動になりましたら引き継ぐことが原則となっております。

ります。また、異動した際には毎年、携帯番号表を配布(広報誌折込)しておりますのでご理解をお願い致します。

代表総代会では意味をなさない。理事にならぬ人に直接一人一人に質問したので、何も意見のない人を集めて、総代会をやりました。では済まされない。

・理事は経営者である。その資質を知りたい。
・理事になって組合員の為に何をやられるのか。
・事業が失敗した時の責任をとる覚悟があるのか。
また、前年までの事業の失敗をその時の理事に責任をとらせる心意気があるか直接一人一人に伺いたい。(宮崎)

今回の第25回通常総代会につきましては、当初通常での開催を検討しておりましたが、ここ最近コロナウイルス感染者が急速に増加している事を鑑み、4月12日に総代長連絡協議会代表者、農事実行組合長代表者、役員にてリモートによる臨時合同会議を開催し、昨年同様書面による議決権行使での開催と決定を致しました。また、総代会後におきましては、支店毎に説明会等を開催する事を検討しております。その際に新役員との意見交換の場を設けたいと考えておりますので、ご理解を承りますよう宜しくお願い致します。

女性部員の加入が減少している現在、今後女性部がどうあるべきか少しでも部員を増やして存続していく対策を考える時期にきているのではないかと。こんな大切な時に今年度の女性理事選任について女性総代に詳しく浸透しない状況があり残念であった。その経緯を考えた時、女性総代55名の中からリーダーを決めてせめて年に一度の勉強会の開催を思う。そうすることで女性部の意識を高めることにつながらないか。現状のままではこの先もJA女性組織が継続していきけるのかと危機感を考える。こんな時だからこそ、女性理事も参加しこの女性部、総代の勉強会を大切に願っている。(佐土原)

昨年5月が総代改選でありましたが昨年度はコロナ禍で総代研修会を行いませんでしたので、今年度についてはリモートでの開催も視野に入れた実施していきたいと考えます。また、女性理事への参加についても積極的に呼びかけて参ります。

JA女性部活動においては、コロナ禍の影響により活動が停滞しておりますが、「できることから始めよう」を合言葉に感染症対策を徹底しながら、小規模での活動を展開しております。今後につきましても、女性部役員の意見を取り入れながら、健全な食と農を次世代に引き継ぐことを目的とした魅力ある組織活動を行って参ります。

プリーエール

子会社について売り上げの割に利益が少ないのが。(宮崎)

(株)ジェイエイ福祉に関しては、家族葬等の増加により葬儀単価が減少してきている事が影響しております。なお、(株)ジェイエイ福祉では家族葬から一般葬まで執行行っておりますので、お困りの事がありましたらご相談下さい。

総合企画室

昨年度、店舗統廃合により、多くの金融店舗が閉鎖されたが、職員数があまり減少していないように見受けられる。この店舗統廃合の対家店舗にいた職員の人数ほど、減少するわけではないのか。また、店舗統廃合による事業効果などはどれぐらいあったのか。(南宮崎)

10店舗の再編の目的は、金融仲介機能の強化であります。再編によって各種渉外を新設、増員し、部署の体制も増員によって強化しておりますので、全体人員は変わっておりません。

経営改革の効果としては、再編前は例えば融資残高は毎年約20億程度減少の一途をたどって参りましたが、令和3年には大きく伸び、約50億も増加しております。また、貯金残高も約40億ほど伸びております。今後の見直しにおいてもさらなる伸長を見込んでおり、再編による機能強化の成果は、はっきりと表れてきております。

意見や要望は毎年どのくらい件数があり、それがとる(叶う)要望はどれくらいあるのか。その後の進展がみられない。(国富)

今年の座談会では220件の意見・要望を頂いております。皆さまから頂いた意見や要望については、事業として対応できるものについては事業

計画等に織り込んでおります。ただし、個別の意見・要望すべてそのままを計画に織り込むということではなく、集約して、ある程度大きな取組みとして計画に組み入れるという方法で対応しておりますのでご理解ください。なお、個別に対応が必要と判断したものについては、都度対応させていただいております。

競争やコロナ禍と農業分野にも影響が出ているが、今後も持続可能な農業・地域・食に対してのJAの役割を担い、より一層の農家・地域の拠り所としてのJA運営をお願いしたい。(宮崎)

当JAは現在、経営改革を実践中です。この目的は、さまざまな厳しい環境変化にも柔軟に対応し、総合事業を堅持することで永続的に組合員の皆さまの営農をサポートし続けていくことにあります。さらに、事業を通じて地域に貢献することで、地域になくならないJAとなることを目指しています。今後も経営改革を継続し、皆さまのご期待に沿えるよう役員一丸となって努力して参ります。

現在、生産者はコロナ・ウクライナ情勢等で肥料・農薬等の資材価格が高騰しており苦しい経営状況にある。その為、今年だけでもいいので次期繰越剰余金を次年度に持越さず事業分量配当金に充ててもらいたい。(佐土原)

農業関連資材の高騰は過去に類を見ないほど急激に農家経営に影響を与えていることは、JAとしても対応すべき最優先課題として認識しております。その対応として、価格高騰対策を行い、さらに剰余金処分案として事業分量配当を提案させていただいたところであります。

一方、JAは現在、早期警戒制度などのより厳しい規制への対応を迫られております。この対応としてJAグループ全体で経営基盤強化に取り組んでいるところであり、自己資本の増強は必須であります。よって、農家支援と自己資本増強のバランスを図りながら対応させていただいておりますことをご理解ください。

野菜・花卉指導課

施設・露地園芸

「6月の栽培管理について」

（施設園芸品目）
梅雨時期になりますので、循環扇や送風を行いハウス内の空気循環をしっかりと行い病気の対策をしっかりと行いましょう。

（露地野菜品目）

天候が不安定になる為、計画的な作業を行い、排水対策もしっかりと行いましょう。
※施設・露地栽培共に害虫の発生が多くなります。圃場内外の除草対策もしっかりと行いましょう。 圃

「6月の月の動きと管理」

植物の成長は、上弦の月から満月にかけては緩やかになりますが、満月から下弦の月にかけては伸長が盛んになります。植物の動きによって作業が変わりますので、しっかりと観察してみましょう。

※6月の満月は6月14日前後の予定ですので害虫防除は6月17日前後で行いましょう。

農産指導課

早期水稲

移植後の概要

本年の田植え最盛期は平年並みの3月26日となりました。本年は、活着が始まる頃より好天が続ぎ、水温

地温が高くなったことにより、生育はやや早い状況。5月6日の生育調査結果では、葉齢は平年より進んでおり8枚、茎数は平年よりやや多く15・8本、草丈は平年より高く35・0cmとなっております。（※葉齢：葉の枚数、茎数：分けつの本数）

水管理

中干し後は間断かん水（3〜5日おきに水を入れる）又は飽水管理（足跡に水が残る程度）を心がけましょう。ただし穂肥は水を入れてから行います。また幼穂形成期〜開花期は、稲の一生の中で最も水が必要な時期です。水を切らさないように湿水し、その後は間断かん水で最後まで根を健全に保ち登熟向上を図りましょう。

除草

雑草の種類や大きさによって除草剤を選択しましょう。また、除草剤の種類によって使用方法が異なりますので、詳しいことは最寄りのJAもしくは普及センターへお問い合わせください。

穂肥

①穂肥の時期：コシヒカリは出穂15〜20日前です。平均的な株の最も長い茎を株元から引き抜き幼穂を確認します。コシヒカリは幼穂の長さが1cmほどあれば穂肥の適期です。
②穂肥の量：施用量は「カラースケール」等を使用して判断して下さい。雨後や朝露が残っている時の施用はなるべく避けましょう。

※早期一発君について
早期一発君には基肥に加え、穂肥分の窒素も含まれており、施肥が1回で済むように製造されていますので、穂肥をする必要はありません。

防除

7 上	中	紋枯病	バリダシン液剤5 (1000倍150L)
	下	出穂 穂いもち病	又はバリダシン粉剤DL(3〜4kg)
6	中	ヒームエイトスタークルソル	又はヒームスタークル粉剤5DL (1000倍150L)
	下	カメムシ	又はヒームスタークル粉剤DL(3kg)
7 上	中	スタークル液剤10	又はスタークル粉剤DL(3kg)
	下	カメムシ	又はスタークル粉剤DL(3kg)

動噴等を持たない方は幼穂形成期に穂いもち・紋枯病の対策として「オリブライト1キログラム」の施用が効果的です。使用量は10a当たり1kg。使用時期が収穫45日前までですので、散布時期にご注意ください。

普通期水稲

近年では、6月上旬までに移植したヒノヒカリは、気温の高い時期に出穂するため、登熟が不完全となり乳白米、心白米の発生により下位等級の割合が高くなっています。田植時期を6月20日以降に遅らせて品質向上に努めましょう。

田植え

条間30cm×株間17〜18cm植えで、坪当たり60株を確保しましょう。

病害虫防除

葉いもち・ウンカ類・コブノメイガ対策として、サンスパイク箱粒剤を苗箱に施用し病害虫防除の初期予防対策を実施しましょう。つけ苗は、いもち病の発生原因となりますので必ず取り除いて下さい。

水管理

田植えから7日間は深水（水深4〜5cm）にして、根の活着を促します。根が活着したら、水温と地温を上げるため浅水（水深1〜2cm）にして分けつを促しましょう。

飼料用イネ

周囲に主食米（ヒノヒカリ等）やヒノルハウスが隣接している場合は、必ず病害虫防除を実施して下さい。近年、飼料用イネからのウンカ・コブノメイガ・カメムシの飛来により、主食米への被害が多数発生しております。畦畔管理を徹底し、出穂前後の2週間は畦畔の草刈りは控えましょう。
また、隣接しているヒノルハウスにはカメムシやアザミウマ、ヨコバイの進入が懸念されますので病害虫防除を徹底しましょう。

ウンカ・コブノメイガ対策

方法	薬剤名	使用量
箱施業	デジタルパウアー箱粒剤(いもち病・ニカメイチュウ・コブノメイガ・ウンカ類対策)	50g/箱

カメムシ対策

方法	薬剤名	使用量
本田防除 (出穂期以降)	スタークル液剤10	1000倍 150L

※詳しい内容は飼料用イネ栽培ごよみを参照して下さい。

2022年6月							
週	日	月	火	水	木	金	土
第1週				1 月齢 1.6 (大潮)	2 月齢 2.6 (大潮)	3 月齢 3.6 (中潮)	4 月齢 4.6 (中潮)
	5 月齢 5.6 (中潮)	6 月齢 6.6 (中潮)	7 上弦 月齢 7.6 (小潮)	8 月齢 8.6 (小潮)	9 月齢 9.6 (小潮)	10 月齢 10.6 (長潮)	11 月齢 11.6 (若潮)
第2週	12 月齢 12.6 (中潮)	13 月齢 13.6 (中潮)	14 満月 月齢 14.6 (大潮)	15 月齢 15.6 (大潮)	16 月齢 16.6 (大潮)	17 月齢 17.6 (大潮)	18 月齢 18.6 (中潮)
	19 月齢 19.6 (中潮)	20 月齢 20.6 (中潮)	21 下弦 月齢 21.6 (中潮)	22 月齢 22.6 (小潮)	23 月齢 23.6 (小潮)	24 月齢 24.6 (小潮)	25 月齢 25.6 (長潮)
第3週	26 月齢 26.6 (若潮)	27 月齢 27.6 (中潮)	28 月齢 28.6 (中潮)	29 新月 月齢 0 (大潮)	30 月齢 1 (大潮)		

ほっとトピックス



JA宮崎中央のSDGsの取り組みをマークで表示しています

4月8日

新茶の摘採前に役員巡回

JA役員による茶園巡回が行われました。今年の新茶摘採の開始の前に、各支店の茶園や工場を訪問し、生産者と意見交換を行いました。

今年は気候も安定していたので良いお茶になりそうと嬉しい声を聞きましたが、一方では資材・燃料の値上げにより厳しい状況にあるなど、様々な意見が生産者からあがりました。



南宮崎



田野



高岡



国富

4月14日

『太陽のタマゴ』解禁！

4月14日、全国の市場で完熟マンゴー『太陽のタマゴ』が解禁となりました。JA宮崎中央産の『太陽のタマゴ』順調に生育し、毎日多くの完熟マンゴーが出荷されています。

5月～6月にかけて出荷のピークを迎え、8月頃まで出荷が行われます。



宮崎市中央卸売市場での初競り

4月13日

事故の再現で交通ルールを確認



JA宮崎中央はJA共済連宮崎協力のもと、宮崎市立広瀬中学校で交通安全教室を行いました。スタントマンが自転車による交通事故を再現し、事故の恐ろしさを伝えました。



4月15日

はびす号で農産物販売！



移動販売車「はびす号」が宮崎支店、住吉支店にて農産物の販売を行いました。年金受給日に合わせて行ったため、多くの人が支店に来店されていました。

来店者プレゼントを配布するなど、支店は賑わっており、多くの方が足を止めてトマト、キュウリ、イチゴ、黒皮南瓜などを買い求めていかれました。



出港式にて栗原組合長の挨拶



農産物パネルの目録を贈呈

旅行者に宮崎農産物の美味しさをお届け

4月15日

4月15日より宮崎と神戸を結ぶため就航した新船「フェリーたかちほ」。同日の夜、出航式が行われ、栗原俊朗組合長が出席し、管内の農産物目録を宮崎カーフェリー(株)代表取締役社長 郡司行敏氏に手渡しました。

これはみやざき中央農産物ファン拡大事業（JA、生産者、宮崎市、国富町が協力を行う）が関西からの乗船客に宮崎の食の魅力を発信するために贈呈を行いました。胡瓜、ピーマン、トマトなどの農産物は船内のレストランに提供されます。

これから宮崎の食材を利用者の方に味わっていただき、宮崎の農産物が広く認知されることを期待します。

5月6日

母の日は花を贈ろう！

12 0000 0000

JA宮崎中央切花部会は「母の日に花を贈ろうキャンペーン」を山形屋（宮崎市）にて開催しました。部会役員の生産者3名とJA職員により、花に添えるメッセージカードを配布、その場で記入いただき、花束にカードを付けてプレゼントしました。

管内で生産されるトルコギキョウ、ダリア、ベビーハンズ、千日紅を使用した花束を150束用意し、買い物に訪れていた方々に「はぴす」と共に職員が声掛け。カードには感謝の言葉を書かれ、笑顔で花を受け取られていました。「帰りに母に渡しに行きます」「日頃の感謝が伝えられて嬉しい」と感想を頂きました。

吉野恒男会長はこの企画について「コロナで落ち込んだ花の需要を応援したい。生産者の応援はもちろん、花きを扱って頂く花屋も応援し、母の日には花を贈るというきっかけ作りの一つになってほしい。」と話されていました。



農事功績表彰を受賞



3月中旬、公益社団法人・大日本農会（東京都、総裁・秋篠宮皇嗣）より令和3年度農事功績表彰者が公表され、宮崎市（生目）松田実さんが緑白綬有功章を授与されました。

これは地域農業に長年貢献した人に贈られる賞であり、松田さんは施設花き生産者として長きにわたり地域農業の発展に貢献されています。3月28日には宮崎県庁にて伝達式が行われ、河野俊嗣知事より表彰状を受け取られました。

松田さんは授与について、「この賞は自分の力だけでなく、家族や周りの方々の支えがあってのもの。深く感謝するとともに身の引き締まる思いです。新規就農者の就農支援に関しても、今後、より一層力を尽くして取り組みたい。」と話されました。

ドローン情報

ハウス遮光・遮熱剤の散布でお困りの方…
ドローン散布しませんか??

ぜひ(株)アグリプラスにご相談ください!

散布料金10aあたり**27,000円**(税別)【薬剤別】

技能認定の取得を目指してみませんか?

DJIドローン教習会コース

5日間コース(MG-1、T20)

初心者及び模型ドローン・ラジコン経験者 **250,000円**(税別)

3日間コース

産業無人ヘリコプター技能認定取得者 **150,000円**(税別)

1日コース

自動航行講習(MG-1認定取得者のみ) **40,000円**(税別)

※5日間コースに限り、2回に分けて教習可

教習場所

- ・宮崎校：JA宮崎中央 家畜市場
- ・南宮崎校：JA宮崎中央 木花支店

教習日程 今後の日程につきましては、
下記連絡先へお問合せください。
(株)アグリプラス ☎0985-89-4664(担当:加治屋)

4月23日

式部の里9周年の感謝を込めて

12 1122
∞

4月23日、わちどんが村式部の里にて9周年感謝祭を行いました。店舗外では地鶏の販売や買い物をされたお客様へ国富支店女性部が作った紅白餅の配布や粗品のプレゼント、また『太陽のタマゴ』や『にこまる』が当たるくじ引きなどの催しを行いました。



JAと地域交流の場をご紹介します

はびすの
わ

早い!!



4月13日、住吉南小学校5年生によるお米学習教室が行われました。例年は児童たちが田んぼに入って実際に体験しますが今年はコロナにより中止。

そこで、生産者による田植え機を使った実演、またJA職員による手作業での田植えの見学を行いました。また見学後は生産者と職員へ米作りについての質疑応答も行いました。



田植えて
こんなするんだ!

ぜひ当店を
ご利用ください☆



毎月、エコーブ清武店前にて金融商品の案内チラシを配布しています。エコーブを利用する地域の皆様にちょっとした粗品をプレゼント、担当職員によるお声掛けをしています!

女性部活動紹介



宮崎支店

4月15日、宮崎支店女性部は絵はがき講習会を行いました。女性部、フレッシュミズの役員10人が集まり、2回にわたって絵はがきの描き方を学びました。講師には高橋和平氏を招き、色の使い方、ハガキに対しての描く構図など学びました。

これは交流の場が少なくなった女性部同士の親交を深めるため、75歳以上の女性部に対してマスクとともにプレゼントしようという企画。初めて描く墨汁での絵、色の使い方に苦戦している様子ながらも、渡す相手のことを思いながら、1枚ずつ丁寧に仕上げました。

田野支店

4月22日、田野支店女性部はプリザーブドフラワーアレンジ教室を行いました。田野町の「フルール HanaMame」さんから講師の方を招き、用意された花材を使って可愛いアレンジを作成しました。



ナス科、マメ科野菜を栽培される皆様へ 県内で「トマトキバガ」の発生が確認されました

海外からの侵入害虫**トマトキバガ**が、県内の一部地域の施設栽培トマトにおいて確認されました。

成虫は非常に小さな蛾（ガ）で、幼虫は葉に潜り、ハモグリバエ類とはやや異なる工カキ症状を示すとともに、**果実にも穴を開け、侵入**します。

海外では農薬に対する**抵抗性発達**の報告があり、地域に蔓延すると防除が難しいため、以下の被害や虫を見つけたら、JAや紙面下の連絡先へご連絡ください。



被害が予想される野菜
ジャガイモ、ナス、ピーマン、トマト、インゲンなど

◎ 疑わしい蛾や症状がありましたら、ご連絡ください。

<連絡先> 中部農業改良普及センター ☎ 0985-30-6121
病害虫防除・肥料検査センター ☎ 0985-73-6670

畜産部だより

4月期品評会

令和4年4月18日

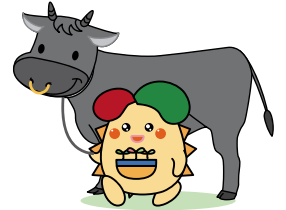
【出場頭数】 雌子牛の部 21頭 去勢子牛の部 開催なし



雌牛の部

一万田和明さん(国富)

「ゆめこ」号(R3.7.10)父「富久竜」、母の父「美穂国」、母の祖父「忠富士」、母の母の祖父「福桜」



4月期子牛セリ市

令和4年4月13日～14日

地区	性別	頭数	最高	最低	平均価格	kg単価
宮崎	雌	29	1,491,600	534,600	700,548	2,396
	去勢	49	990,000	542,300	771,639	2,535
南宮崎	雌	60	840,400	429,000	612,535	2,267
	去勢	83	1,049,400	543,400	775,845	2,651
田野	雌	35	858,000	454,300	609,934	2,263
	去勢	52	946,000	546,700	745,398	2,553
佐土原	雌	37	880,000	457,600	679,800	2,454
	去勢	50	1,067,000	551,100	832,854	2,684
高岡	雌	30	920,700	491,700	707,373	2,473
	去勢	49	1,038,400	557,700	780,910	2,628
国富	雌	78	896,500	456,500	639,988	2,288
	去勢	113	1,026,300	551,100	785,108	2,595
合計	雌	269	1,491,600	429,000	649,474	2,337
	去勢	396	1,067,000	542,300	781,794	2,609
	総体	665	1,491,600	429,000	728,269	2,504

成績(敬称略、かっこは支店名)

【雌牛の部】

2席=関谷 直樹(国富)

5席=東郷 佑樹(高岡)

3席=高橋 正輝(佐土原)

6席=井上 五生(国富)

4席=串間 貢(田野)

和牛オリンピック2022

～チーム宮崎中央支所の挑戦～



4月26日、第12回全国和牛能力共進会宮崎中央支所出品申込みのための引出検査が行われました。今回の引出検査では第2区(若雌の1は1頭)、第4区(繁殖雌牛群6頭)、第6区(総合評価群 第5安栄5頭、勝光美8頭)合計20頭の検査を行い、分挽等で引出検査出来なかった高等登録群3頭は自宅検査にて行われました。

全国和牛登録協会宮崎県支部の御指導を頂きながら、栄養度、牛の似通い、美点、惜点を確認し、宮崎中央代表牛決定検査会に繋がる調査が行われました。

『宮崎中央支所から宮崎県代表牛を勝ち取るため、覚悟を持って生産者と一体となって日本一になる牛たち・地域を盛り上げていきたいと思ひます! (松)』

考えようSDGs!

『さあ〜て、どんげすかい?』



管内で目標達成に向けて活動する人を紹介します。このコーナーを参考にSDGsを考えてみよう!



女性部同士で引き継がれる加工品作りで食を守る



地域の女性部で集まり、安全安心な食について学習、情報をお互いに共有します。その中でも「こんにやく作り」は毎年行い、新しい仲間に教え合うため集まります。この活動は伝統食の継承および地産地消につながっており、参加者はここで初めてこんにやく芋の扱いを学び、次の参加者へ教えます。

田野支店女性部 部長 日野みや子さん

田野支店女性部の中で長く受け継がれるこんにやく作りです。仲間と集まって楽しく作ります。毎年違った食感、形などが出来上がるのでそれも勉強になり楽しみでもあります。今後も加工品をみんなで作ることは続けていき、「食」を大切にしていきたいですね。



葬祭 プリエール宮崎

初盆商品のご案内

ご先祖様に礼を尽くし、感謝の心でお迎えをする大切な日。ほのかな明かりが、偲ぶ思いを静かにともします。

盆提灯・盆料理・盆返礼品(記念品) 盆菓子・盆用供花・お線香・ロウソク お仏壇・仏具・神具など 多数の商品を各種取り揃えております。

まずは、お電話ください。専門スタッフがご対応させていただきます。

葬祭 プリエール宮崎 プリエール宮崎 公式 検索

0120-930-170

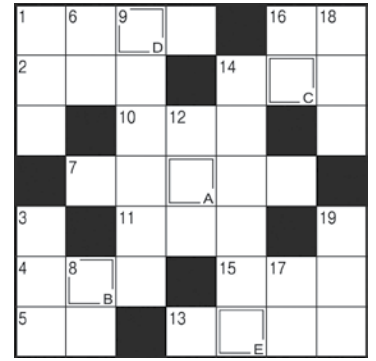
クテのカギ

- 1人用がシングルなら2人用は
- 作物のテンサイは、——ダイコンとも呼びます
- かまぼこの土台にします
- 唇に差す物
- 最高学府に通う人々
- 2022の百の——の数字は0です
- 賭博師、ばくち打ちのこと
- ビールやジャムを詰めます
- サラダ、——サンド、——マヨネーズ
- 大福とかようかんとか。水無月（みなづき）というのもあります
- いろいろな具をトルティーヤで挟んで作ります

クコのカギ

- 虹の七色の一つ。赤の隣です
- 役者が立つ所
- アメリカに行くことを漢字で表すと
- とげに覆われた海の幸
- 「佐藤錦」「ナポレオン」などの品種があります
- 出番前の出演者が支度をする場所
- ジョン・ウェインやゲイリー・クーパーは——劇で活躍しました
- 賞与とも呼ばれます
- 多くの星が集まってできています
- おなかの上で貝を割る動物
- 生産量日本一は長崎県。特に茂木の物が知られている果物

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



4月号の答え「ヤエザクラ」

※当選者の発表は誌面にて行います。なお公正を期するため本名での発表とさせていただきますので、ご応募の際は了解下さい。



4月号のプレゼント 完熟マンゴー

- 井上 典子さん 日高真依子さん
谷口 絢菜さん 山中 敏子さん
中留 正則さん

おめでとうございます
今月の応募は131通でした

10名様に
プレゼント

煎茶&紅茶

宮崎市・国富町の茶葉を使っています。
可愛いデザイン缶に入っています！



応募方法・締切

下記の要領で **6月22日(水)**
(当日消印有効)までにお送りください。

当選者発表は8月号です。

※ご応募に際して取得した個人情報はこのたびのプレゼントの抽選・発送以外には一切使用しません。また承諾なく第三者に提供しません。但し、コメントに関しては「WELCOME JA」に掲載させていただく場合がありますので、ご了承下さい。

〒880-0813

63 めぐみ6月号係
宮崎市丸島町1番17号
JA宮崎中央

- ①クイズの答え
〇〇〇〇
- ②千・住所・氏名(匿名の場合はペンネームも)・年齢・電話番号
- ③JAだより「めぐみ」やJA、農業に対するメッセージ、日常のこぼれ話、イラストなど(必ず書いてくださいね!)

各 支店の皆様のお顔が拝見できて更に親近感を覚え
ました。(宮崎市 原さん)

ミ ニトマトのぬか漬けに再び凝っています。先日大きめのミニトマトで漬けたら一口より大きかったのでちよっと困りました。やはり1口で食べられるのが一番です。
(国富町 河野さん)

花 東プレゼント企画のコーナーが良かったです。感謝の気持ちを花束と一緒に伝えたいなーと改めて思いました。母の日も近いので計画してみようと思います。
(宮崎市 しんべえさん)

3 00号記念の「感謝の手紙」感動しました！同感することも多く、特に介護や医療に携わる方々にはコロナにおいて感謝しても足りないくらいにの労力を使われており誇りに思います!!
(宮崎市 初ちゃんさん)

Welcome JA
～読者からのお便り～

めぐみ4月号のご感想
ありがとうございます。



編集後記

武部の里9thイベント、あいにくの雨でしたが、朝からたくさんのお客様！
国富女性部さんのお手製紅白もち、私も武部で買ったお買い物をGETして
きました！美味しく頂きました。
来月はおもちを10リットと焼いて石臼糖
醤油派!! 皆さんはどんな食べ方が
お好きですか? オススメ食べ方もあれば
教えてください。 (木)



めぐみを初めて手にしました。野菜は出来るだけ生産者さんが分かるものを...と売場へ行くトラックに入っていためぐみ。JAの方々のお顔、生産者の方の声、そして消費者の声などたくさん情報に満足です。来月も必ず買って見たいと思います。(宮崎市 黒木さん)

ポ カポカ陽気に誘われて娘と散歩に出かけると「コレは何？」と草花の名前を聞いてきます。これは答えなきやと随分名前を覚ええました。子どもに教えられる毎日です。
(国富町 日高さん)

臨時理事会

令和4年4月28日(木) JAAZM大研修室

- 1 代表理事及び役付理事の選任について
- 2 理事の順位の決定について
- 3 理事委員会の構成について
- 4 地区代表理事の選任について
- 5 (株)ジェイエイ福祉、(株)アグリプラス、(有)ジェイエイファームみやざき中央の取締役の選任について
- 6 参事の解任について
- 7 参事の選任について
- 8 「個人情報保護統括管理者」の選任について
- 9 理事の報酬について
- 10 役員退職慰労金について
- 11 役員賠償責任保険の加入について
- 12 業務報告書及び連結業務報告書について

以上12議案が、可決・決定及び承認されました。

人事異動 (かっこ内は旧部署)

【人事異動】

令和4年4月9日付

池田 梓紗 総務部 総務課 庶務係 (育児休業)

令和4年4月11日付

横山 千紘 国富支店 共済課 共済係 (育児休業)

令和4年4月27日付

北川 泰孝 生目支店 支店長 (宮崎支店 共済課 課長)

日高 弓子 宮崎支店 共済課 課長 兼 支店長代理
(同支店・課 課長補佐)

種子田和寿 宮崎支店 共済課 課長補佐 (同支店・課)

【退職】

令和4年4月30日付

井野 里奈 佐土原支店 貯金を替課 貯金を替係

交通事故はJA共済(交通事故処理センター)

8:30~17:00まで(平日) ☎35-3507

宮崎県夜間・休日事故受付センター

平日/17:00~
土日・祝・祭日/ ☎0120-258931

カード紛失時連絡先

- キャッシュカードの紛失 17:00~翌8:00(平日) 8:00~翌8:00(土・日・祝) ☎0120-646-106 ※上記時間以外はお取引店舗までご連絡ください
- JAカードの紛失 24時間受付・年中無休 ☎0120-159674

わちどんが村 式部の里

わちどんが村 式部の里

LINE@会員限定

毎月お得なクーポンが当たるチャンス!!



こちらのQRコードを読み取って友だち登録をお願いします。



他にも各種イベント情報などをお届けします

宮崎の農産物をお届け! 宮崎てげうま産直便

農畜産品を生産者や生産地の情報に合わせてダイレクトにお届けします。

JA宮崎中央

みやざき中央農産物ファン拡大事業委員会

URL : <http://shop.ja-direct.net/>



JA宮崎中央 ガソリンスタンド

6月定休日のお知らせ

◆5日、19日

- ・生目セルフ
- ・エボックエリア
- ・田野SS
- ・佐土原セルフ
- ・高岡セルフ
- ・三名SS

◆12日、26日

- ・宮崎セルフ
- ・木花SS
- ・清武SS
- ・那珂セルフ
- ・本庄セルフ

◆土日祝日 ・八代SS

ご迷惑お掛けしますが、宜しく申し上げます
上記以外は休まず営業致します

毎週日曜日は特売日です!

※田野SSは毎週火曜日・八代SSは毎週木曜日が特売日となります
※特売日が定休日の場合は前日が特売日となります

JA組合員の皆様へ (株)エーコープみやざきからのお願い

2022年6月1日より
有効期限を過ぎた商品券は
ご利用できなくなります。



商品券の有効期限 発行日より6ヶ月

お早めにご利用いただきますようお願い申し上げます。

毎日のあんしん・おいしいをもうちまで JAくらしの宅配便

インターネットで注文できるJAの宅配サービス!
国産へのこだわりと安全・安心の品質をご自宅やご指定場所へお届けします。

オススメ! その①

「安全・安心」にこだわり

オススメ! その②

地球環境にも考慮して商品開発を行っています

オススメ! その③

安心の国産原料



お問い合わせ専用フリーダイヤル

JAくらしの宅配便事務局

☎0120-009366

受付時間

土曜日・日曜日・祝日を除く、
午前9:30~12:00まで 午後1:00~5:00まで

※お電話でのご注文は承っておりません

JAくらしの宅配便ウェブサイト(インターネット)



<https://jakurashi.zennoh.or.jp/>

使用残農薬回収の開催について



回収日時
令和4年
6月10日(金) 9:00~15:00
6月11日(土) 9:00~12:00

回収場所 各支店 経済課

問合せ先 各支店 経済課

※当日は印鑑をご持参ください。また、口座振替を希望される方は通帳印をご持参ください。

- 農薬は、法律により適正に処分する事が定められています。
- 処分にお困りの農薬をJAが一括して回収し、処理専門業者に委託して処分します。
- 回収処分費用は、**130円/kg(税込)**となります。
- 農薬の空容器回収も実施します。容器内容確認の上、持参ください。

ご注意

- ①回収対象は農薬のみです。(肥料や廃油など他の物は回収しません)
- ②長期にわたる保管で包装が弱くなり、中身がこぼれる等の事故がありますので、取扱い・運搬については十分に注意して下さい。
- ③使い残し液剤や粉粒剤を一つのビンや袋にまとめないで下さい。(化学反応を起して有害なガスが発生する恐れがあります。)

農業の求人をサポートします

収穫時期等の繁忙期や規模拡大に合わせた労働力を確保するため求人を行う農業者に対して、広告掲載費用の一部を助成します。

対象者 宮崎市内在住し、市内で農業経営を行う農業者で、以下に該当する者
 ①認定農業者 ②認定新規就農者

対象経費 有料職業紹介事業を活用するために必要な経費

補助率 対象経費の1/2以内 補助金額の上限は30,000円

募集期間 第1次募集 令和4年4月1日~令和4年8月31日
 第2次募集 令和4年9月1日~令和5年2月28日

その他 年度内2回まで申請が可能です
 ※同一品目で2回の申請はできません。ただし、作付期が異なる場合は除きます。

申請方法 本事業を希望される方は、補助金交付申請手続きが必要になります。有料職業紹介事業者から提示される「見積書」をご用意ください。「所定の様式」を記入し、宮崎市農政企画課へご提出ください。最寄りの総合支所農林建設課、地域センターでも受付できます。
 ※所定の様式は宮崎市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ：宮崎市農政部農政企画課担い手対策係 (電話：0985-21-1785 FAX: 0985-44-0770 メール：15nousei@city.miyazaki.miyazaki.jp)

正確な日時は分かりませんが、
 近いうち、地震、津波が起こります、
 南海トラフ巨大地震、
 日向灘沖巨大地震、
 どちらも、
 震度6強、マグニチュード8、
 30年以内に80%発生！
 政府の、
 地震調査委員会の予測です、
 30年後か、それとも明日か、
 そのための準備、
 用意、してますか、
 テレビで見た、
 あの地獄が襲って来ます、
 逃げ道、避難場所、
 分かりますね、
 後悔先に立たず、転ばぬ先の杖、
 非常用持ち出しバッグ、
 防災グッズ、
 今すぐ用意して下さい、
 今なら何とか間に合います。

小中月
 ホム

絵と文 山本俊六郎



JA宮崎中央



※広報誌めくみは
 HPからもご覧いただけます

June.2022 No.304 6月号